

# 宮崎県における労働衛生の現状について（令和元年）

宮崎労働局(令和2年6月作成確定版)

## 1. 職業性疾病の発生状況

令和元年における職業性疾病の発生状況は、第1表のとおりである。

県内における職業性疾病による被災者数は121人で、前年同期比で15人(14.2%)増加した。

疾病項目別では、負傷に起因する腰痛45人(37.2%)と最も多く、続いて振動障害が34人(28.1%)、

負傷に起因する疾病(腰痛以外)が22人(18.2%)、異常温度条件下における疾病(熱中症)が8人(6.6%)、じん肺症及びじん肺合併症が5人(4.1%)となっている。

負傷に起因する疾病(腰痛含む)は増加傾向にある。(対前年36.7%増加)

第1表 職業性疾病の発生状況(令和元年)

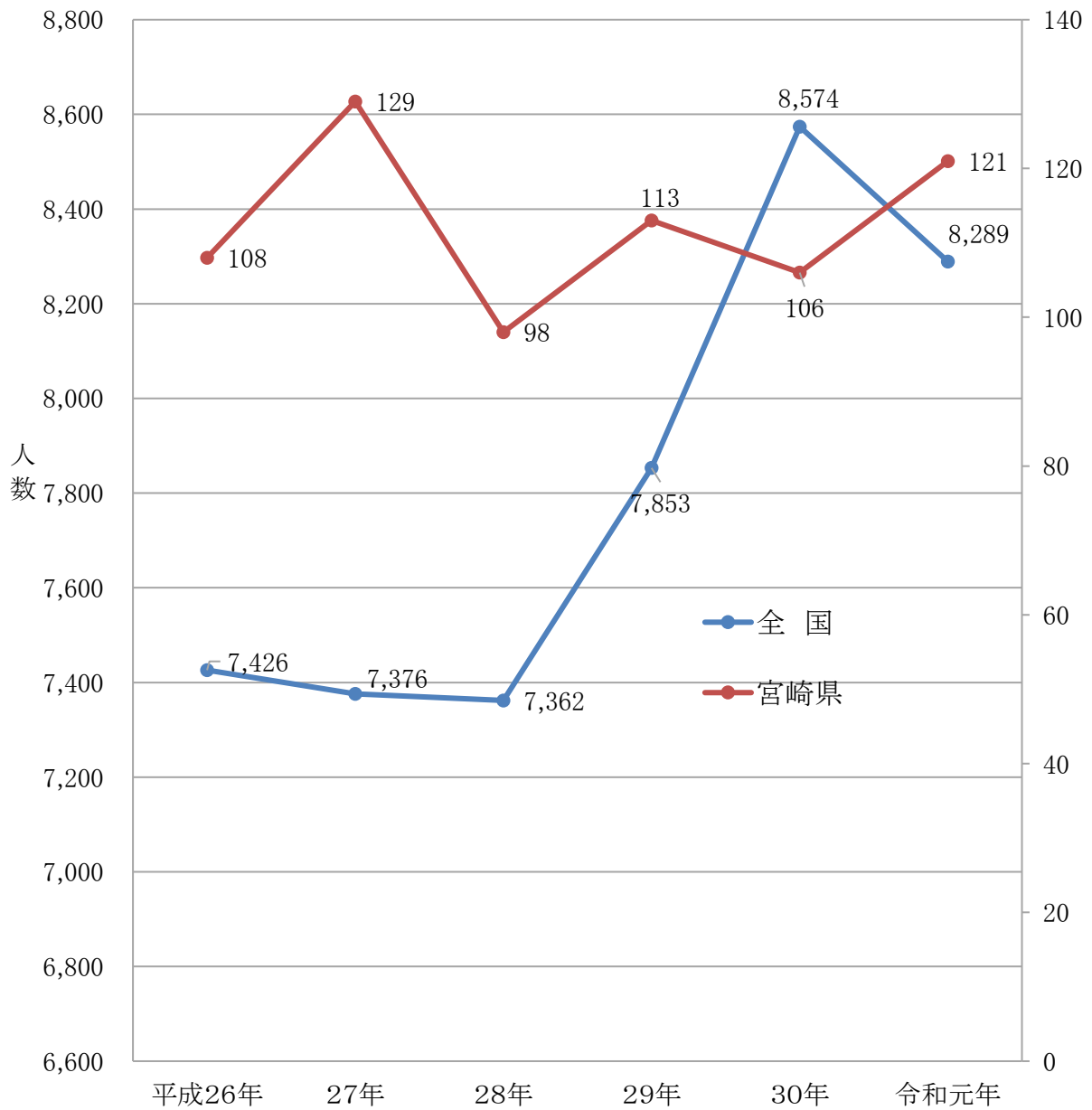
項目	業種												全産業
	製造業	鉱業	建設業	運輸交通業	貨物取扱業	農林水産業	商業・金融・広告業	保健衛生業	接客・娯楽業	清掃・と畜業	左記以外の事業		
① 負傷に起因する疾病	12 (9)		5 (2)	4 (1)	0	5 (1)	13 (9)	20 (19)	3 (1)	2 (2)	3 (1)	67 (45)	
② 物理的因子による疾病	有害光線による疾病												
	電離放射線による疾病												
	異常気圧下における疾病												
	異常温度条件による疾病	1		3						2		8	
	騒音による耳の疾病												
	上記以外の原因による疾病												
③ 作業態様に起因する疾病	重激業務による疾病												
	負傷によらない業務上の腰痛							2			1	3	
	振動障害	1		21	2		7			1	2	34	
	手指前腕障害顎肩腕症候群						3					3	
	上記以外の原因による疾病												
④ 化学物質による疾病										1		1	
⑤ じん肺症及びじん肺合併症	1	1	3									5	
⑥ 病原体による疾病													
⑦ がん	電離放射線によるがん												
	化学物質によるがん												
	その他の原因によるがん												
⑧ 過重な業務による脳血管疾患・心臓疾患等													
⑨ 強い心理的負荷を伴う業務による精神障害													
⑩ その他の業務による明かな疾病													
合計	15	1	32	6	0	14	16	22	3	6	6	121	
(全 国)	1,572	39	611	998	174	173	1,390	1,928	565	388	451	8,289	

(注) 1 本表は、労働者死傷病報告に基づき作成したものです。ただし、宮崎局の振動障害件数は労災給付データに基づいています。

2 「①負傷に起因する疾病」欄内の( )は腰痛の内数です。

3 「⑤じん肺症及びじん肺合併症」欄内の数値は、最終粉じん事業場が県内分で、管理4と合併症り患者の合計です。

## 職業性疾病の発生状況



	平成26年	27年	28年	29年	30年	令和元年
全国	7,426	7,376	7,362	7,853	8,574	8,289
宮崎県	108	129	98	113	106	121

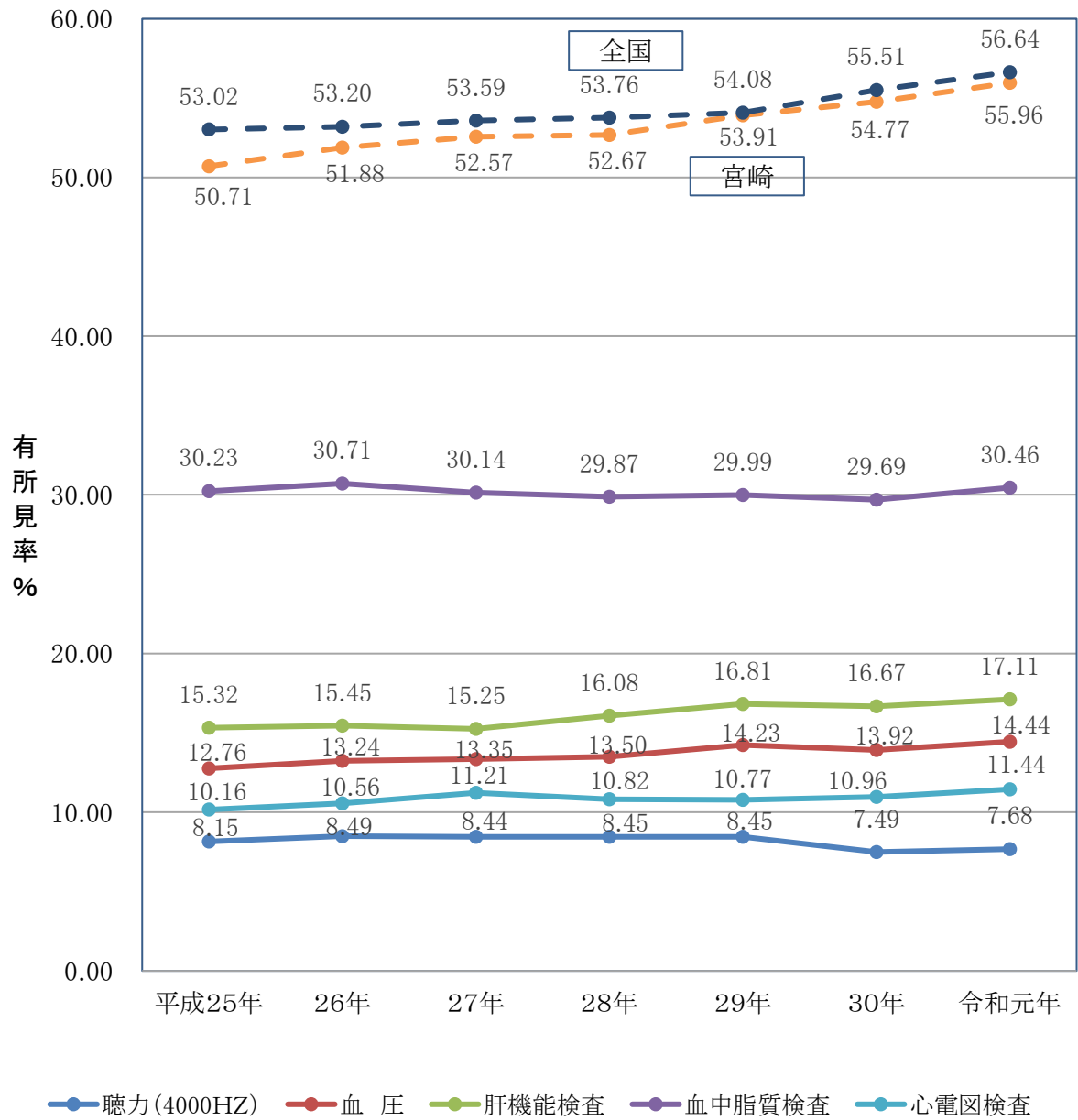
## 2. 定期健康診断の実施状況

- ① 宮崎県内の事業場(原則労働者数50人以上)から報告のあった労働安全衛生法に基づく定期健康診断の実施状況は第2表のとおりである。定期健康診断の平均受診率は83.80%、全産業の有所見率は55.96%で、有所見率は前年比で1.19%高くなった。また、全国平均の56.64%を下回った。
- ② 業種別の有所見率は、製造業・建設業・農林業・接客娯楽業では全国平均を下回っており、運輸交通業・商業・保健衛生業では有所見率が全国平均より高くなっている。
- ③ 主要項目別の有所見の状況は、①血中脂質 ②肝機能 ③血圧 ④血糖 ⑤心電図 の順で有所見率が高く(歯科健診は除く)になっており、これらの項目は「肝機能」を除けば、脳血管疾患及び虚血性心疾患(脳・心臓疾患)の発症と関連が高い検査項目であることから、保健指導、健康教育、運動指導等を通じて有所見項目の改善を図るとともに、症状に応じて労働時間の短縮や配置転換等の就業上の措置を行うことが求められている。

第2表 健康診断実施状況(令和元年)(宮崎県内)

項目	業種	製造業	建設業	運輸交通業	農林業	商業	保健衛生業	接客娯楽業	左記以外の事業	全産業計	
健康診断実施事業場		236	31	74	12	120	212	44	192	921	
受診者数		29,852	3,017	5,355	706	8,366	22,191	1,990	19,041	90,518	
平均受診率(%)		91.1	95.5	91.9	86.8	79.5	79.5	53.4	81.77%	83.80%	
特定業務従事労働者数		9,088	56	1,992	0	656	11,120	285	1,381	24,578	
所見のあった人数		14,860	1,725	3,644	479	5,777	12,021	941	11,205	50,652	
宮崎県の有所見率(%)		49.78	57.18	68.05	67.85	69.05	54.17	47.29	58.85%	55.96%	
全国の有所見率(%)		55.31	63.11	64.86	69.09	58.06	52.46	54.24	57.64%	56.64%	
医師の指示人数		8,796	913	1,986	252	3,311	6,022	596	6,318	28,194	
項目別有所見者数及び有所見率	聴力(1000HZ)	有所見者数	985	118	641	53	600	661	81	517	3,656
		有所見率(%)	3.36	3.96	6.48	7.55	8.32	3.30	4.18	2.83%	4.27%
	聴力(4000HZ)	有所見者数	1,930	378	886	148	8	824	134	2,258	6,566
		有所見率(%)	6.58	12.81	16.83	21.08	9.84	4.14	6.86	12.38%	7.68%
	聴力(その他)	有所見者数	29	0	0	0	2	6	0	2	39
		有所見率(%)	2.29	0.00	0.00	0.00	0.34	0.39	0.00	0.16%	0.79%
	胸部X線検査	有所見者数	678	68	282	80	484	684	48	696	3,020
		有所見率(%)	2.45	2.28	5.57	11.58	6.05	3.66	2.66	3.80%	3.63%
	喀痰検査	有所見者数	1	0	0	0	0	0	0	1	2
		有所見率(%)	0.35	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.43%	0.26%
	血圧	有所見者数	3,807	454	1,089	162	1,747	2,537	229	3,040	13,065
		有所見率(%)	12.75	15.05	20.33	22.95	20.88	11.43	11.51	15.97%	14.44%
	貧血検査	有所見者数	1,618	87	214	68	664	1,777	93	1,235	5,756
		有所見率(%)	6.01	3.23	4.32	11.02	8.79	8.62	5.03	7.11%	6.97%
	肝機能検査	有所見者数	4,314	571	1,120	187	1,431	3,016	241	3,342	14,222
		有所見率(%)	15.91	20.56	20.49	28.42	18.79	14.88	13.03	18.72%	17.11%
	血中脂質検査	有所見者数	7,226	789	1,834	248	2,912	6,026	458	5,703	25,196
		有所見率(%)	26.68	28.77	36.82	37.69	38.24	30.30	24.74	31.94%	30.46%
	血糖検査	有所見者数	2,686	313	722	124	1,415	1,832	138	2,302	9,532
		有所見率(%)	9.94	11.28	15.00	18.84	18.58	9.15	7.46	12.89%	11.54%
	尿検査(糖)	有所見者数	651	78	262	26	169	410	41	568	2,205
		有所見率(%)	2.20	3.62	4.89	3.69	2.04	1.89	2.11	3.01%	2.47%
	尿検査(蛋白)	有所見者数	1,126	173	367	66	396	1,137	79	879	4,223
		有所見率(%)	3.78	5.74	6.85	9.38	4.75	5.16	4.05	4.63%	4.68%
心電図検査	有所見者数	2,344	261	654	96	1,077	1,999	176	2,065	8,672	
	有所見率(%)	9.47	9.64	13.52	16.47	14.45	12.07	10.26	12.03%	11.44%	
歯科健診	有所見者数	44	2	0	0	0	41	0	9	96	
	有所見率(%)	16.73	12.50	0.00	0.00	0.00	46.59	0.00	10.59%	22.80%	

### 定期健康診断における有所見者の推移



項目	平成25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年
聴力(4000HZ)	8.15	8.49	8.44	8.45	8.45	7.49	7.68
血圧	12.76	13.24	13.35	13.50	14.23	13.92	14.44
肝機能検査	15.32	15.45	15.25	16.08	16.81	16.67	17.11
血中脂質検査	30.23	30.71	30.14	29.87	29.99	29.69	30.46
心電図検査	10.16	10.56	11.21	10.82	10.77	10.96	11.44
有所見率(宮崎県)	50.71	51.88	52.57	52.67	53.91	54.77	55.96
有所見率(全国)	53.02	53.20	53.59	53.76	54.08	55.51	56.64

### 3. 特殊健康診断実施状況

法定の健診における有所見者数は、電離放射線、有機溶剤、特定化学物質等の順に多く、電離放射線、特定化学物質等については、有所見率も全国平均を上回っている。

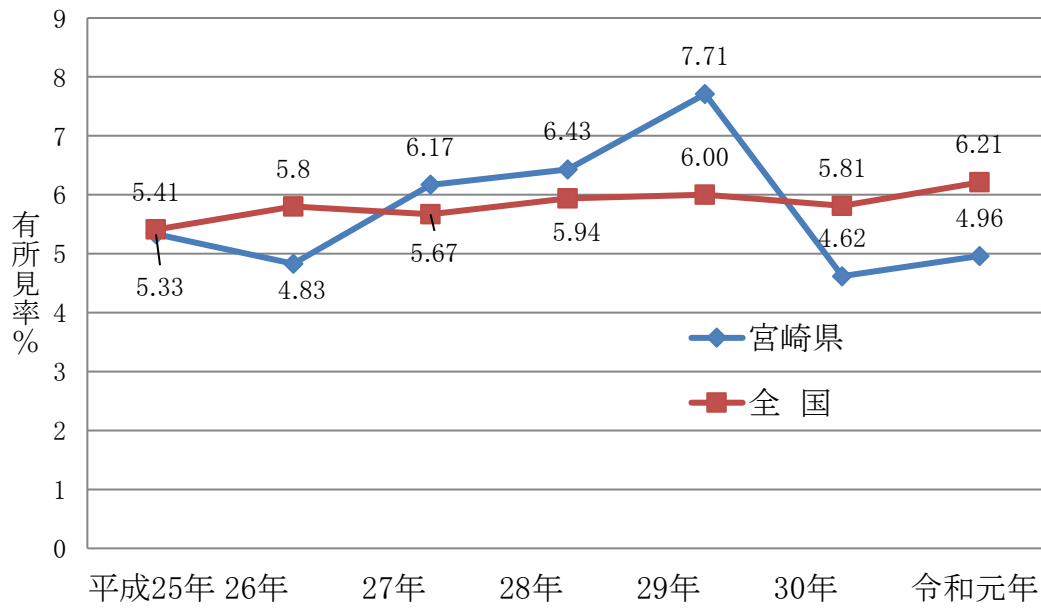
健診の実施率（じん肺は報告率）は、石綿、有機溶剤、鉛、じん肺、特定化学物質の順に低調であることから、引き続きこれらの有害業務に係る健康管理対策、設備対策、作業環境対策等を図る必要が認められる。

第3表 特殊健康診断実施状況(令和元年) (宮崎県内)

	対 象 事 業 場 数	実 施 事 業 場 数	実 施 率 （ % ）	対 象 労 働 者 数	受 診 労 働 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 （ % ）	
							県内	全国平均
有機溶剤	355	292	82.3	4,589	4,278	212	4.96	6.21
鉛	18	15	83.3	194	173	4	2.31	1.70
電離放射線	136	129	94.9	2,282	2,224	292	13.13	9.43
特定化学物質等	241	211	87.6	5,383	5,267	104	1.97	1.73
高気圧	4	4	100.0	37	37	0	0.00	5.97
石綿	12	8	66.7	176	143	1	0.70	0.76
じん肺	353	295	83.6	3,663	1,713	0	0.00	0.03

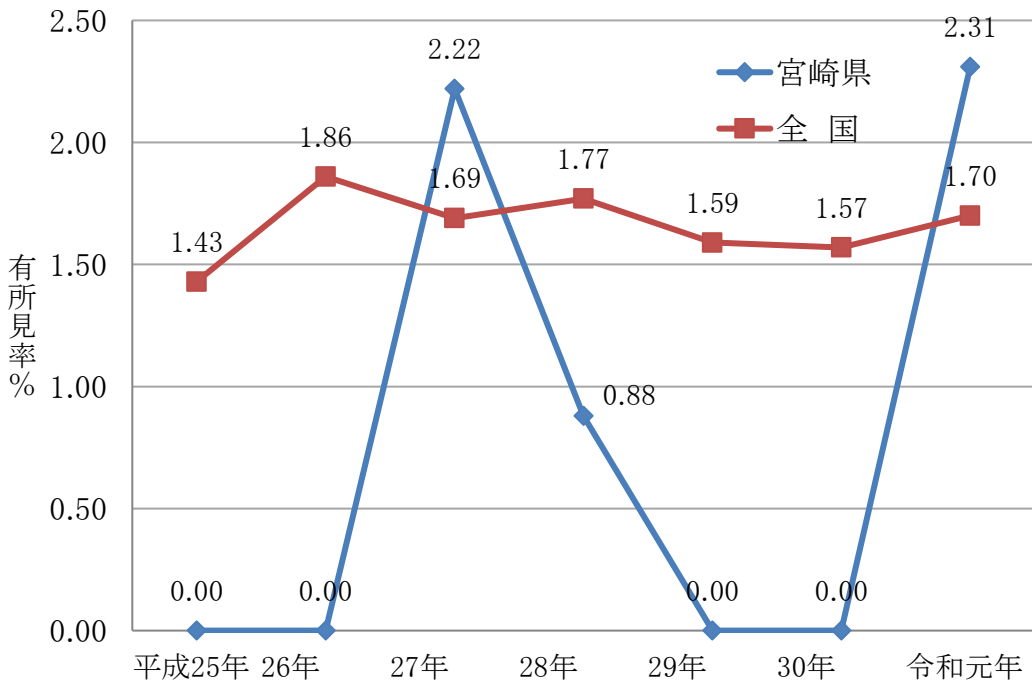
※じん肺に関しては、対象事業場数は適用事業場数、実施事業場数は報告事業場数となり実施率ではなく報告率となる。また、じん肺の「有所見者数」は新規有所見者数であり、以前に管理区分の決定を受けている者は除いている。

有機溶剤健康診断における有所見率の推移



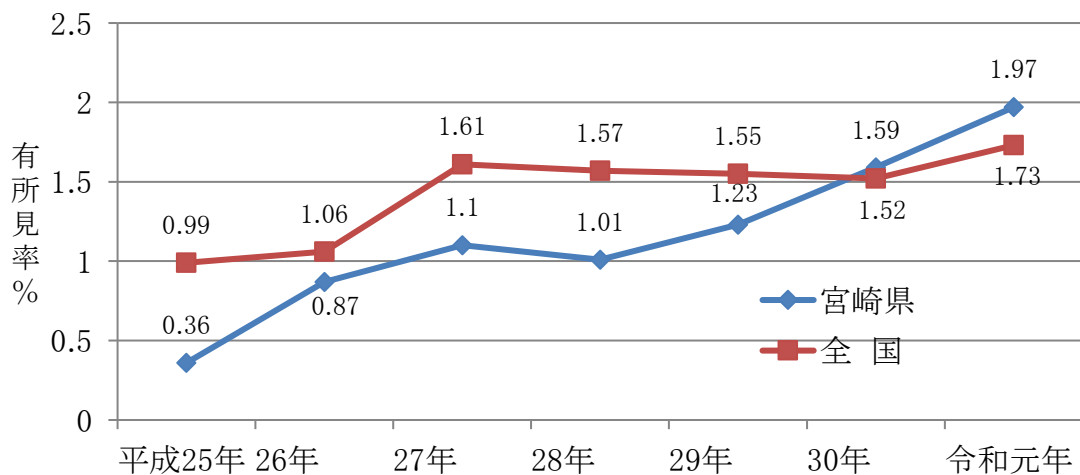
	平成25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年
宮崎県	5.33	4.83	6.17	6.43	7.71	4.62	4.96
全国	5.41	5.8	5.67	5.94	6.00	5.81	6.21

鉛健康診断における有所見率の推移



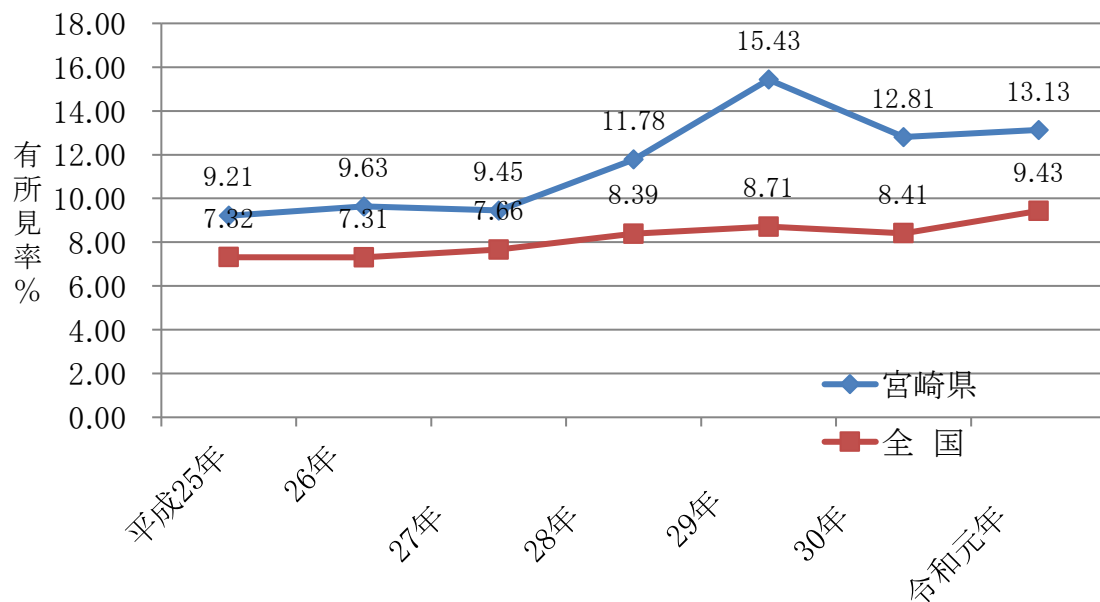
	平成25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年
宮崎県	0.00	0.00	2.22	0.88	0.00	0.00	2.31
全国	1.43	1.86	1.69	1.77	1.59	1.57	1.70

特定化学物質健康診断における有所見率の推移



	平成25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年
宮崎県	0.36	0.87	1.1	1.01	1.23	1.59	1.97
全国	0.99	1.06	1.61	1.57	1.55	1.52	1.73

電離放射線健康診断における有所見率の推移



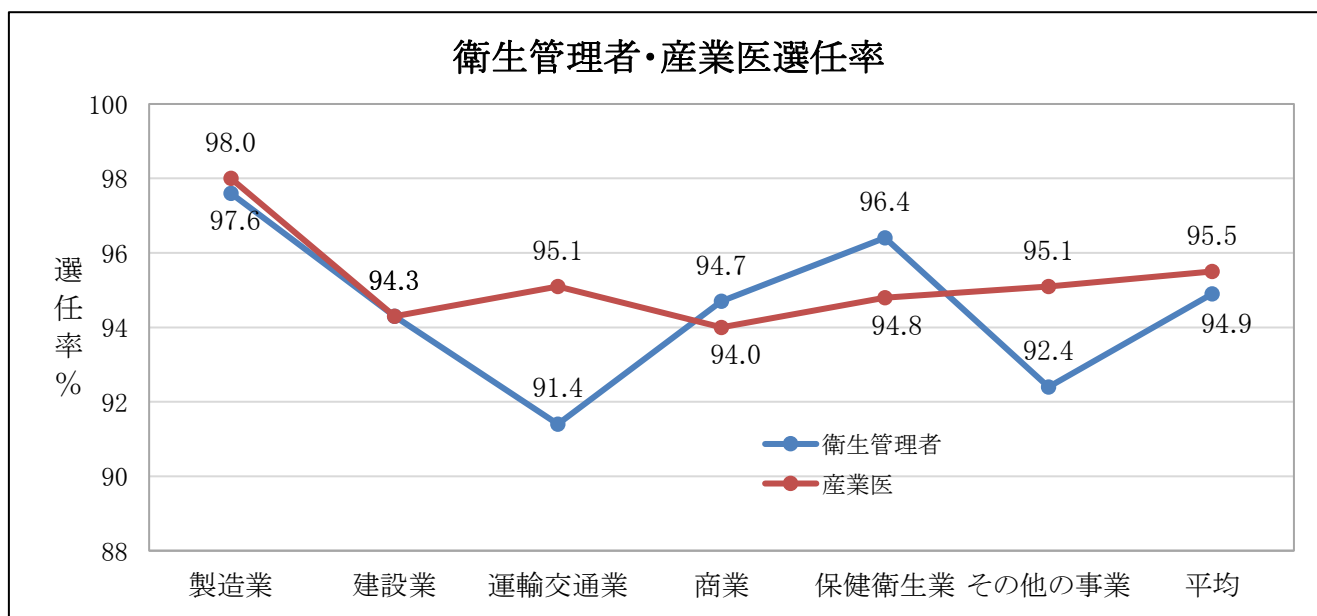
	平成25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年
宮崎県	9.21	9.63	9.45	11.78	15.43	12.81	13.13
全国	7.32	7.31	7.66	8.39	8.71	8.41	9.43

## 4. 産業医及び衛生管理者の選任状況

- ① 労働者数50人以上の事業場における衛生管理者及び産業医の選任状況は第4表のとおりである。
- ② 衛生管理者の選任率を業種別に見ると、製造業(97.6%)が最も高く、次いで、保健衛生業(96.4%)、商業(94.7%)、建設業(94.3%)の順となっている。  
産業医については、製造業(98.0%)運輸交通業(95.1%)、保健衛生業(94.8%)、建設業(94.3%)、商業(94.0%)の順となっている。
- ③ 建設業と商業が、他業種と比較して衛生管理者・産業医の選任率が低い状況にある。
- ④ 全国平均と比較すると、衛生管理者・産業医の選任率はやや高い。

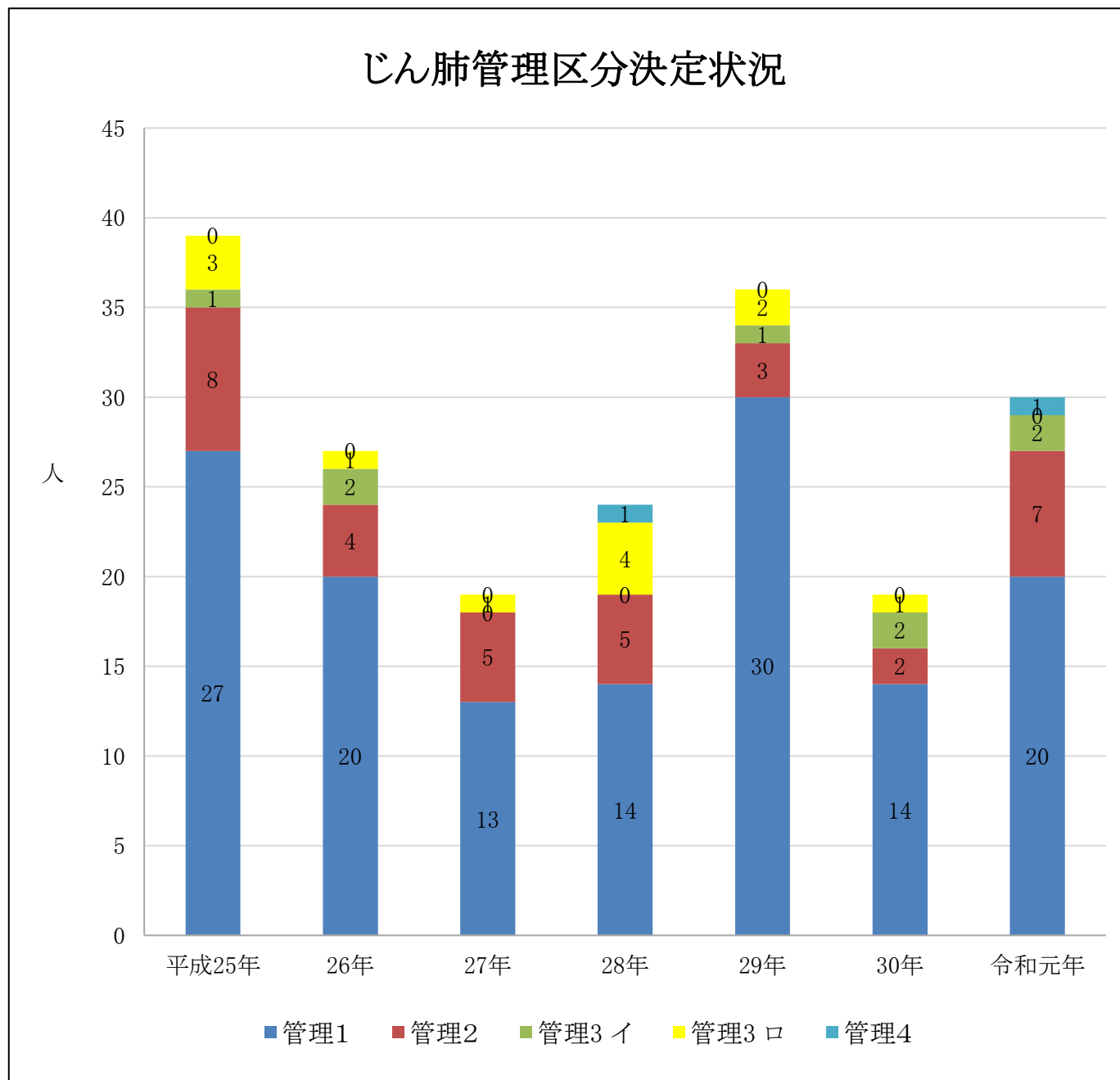
第4表 産業医及び衛生管理者選任状況(令和元年12月末日現在)

業 種		製 造 業	建 設 業	運 輸 交 通 業	商 業	保 健 衛 生 業	左 記 以 外 の 事 業	全 産 業 計	全国計
要選任事業場数 (規模50人以上)		245	35	81	133	252	304	1,050	150,395
衛生 管理 者	選任事業場数	239	33	74	126	243	281	996	134,805
	選任率(%)	97.6%	94.3%	91.4%	94.7%	96.4%	92.4%	94.9%	89.6%
産 業 医	選任事業場数	240	33	77	125	239	289	1003	137,255
	選任率(%)	98.0%	94.3%	95.1%	94.0%	94.8%	95.1%	95.5%	91.3%





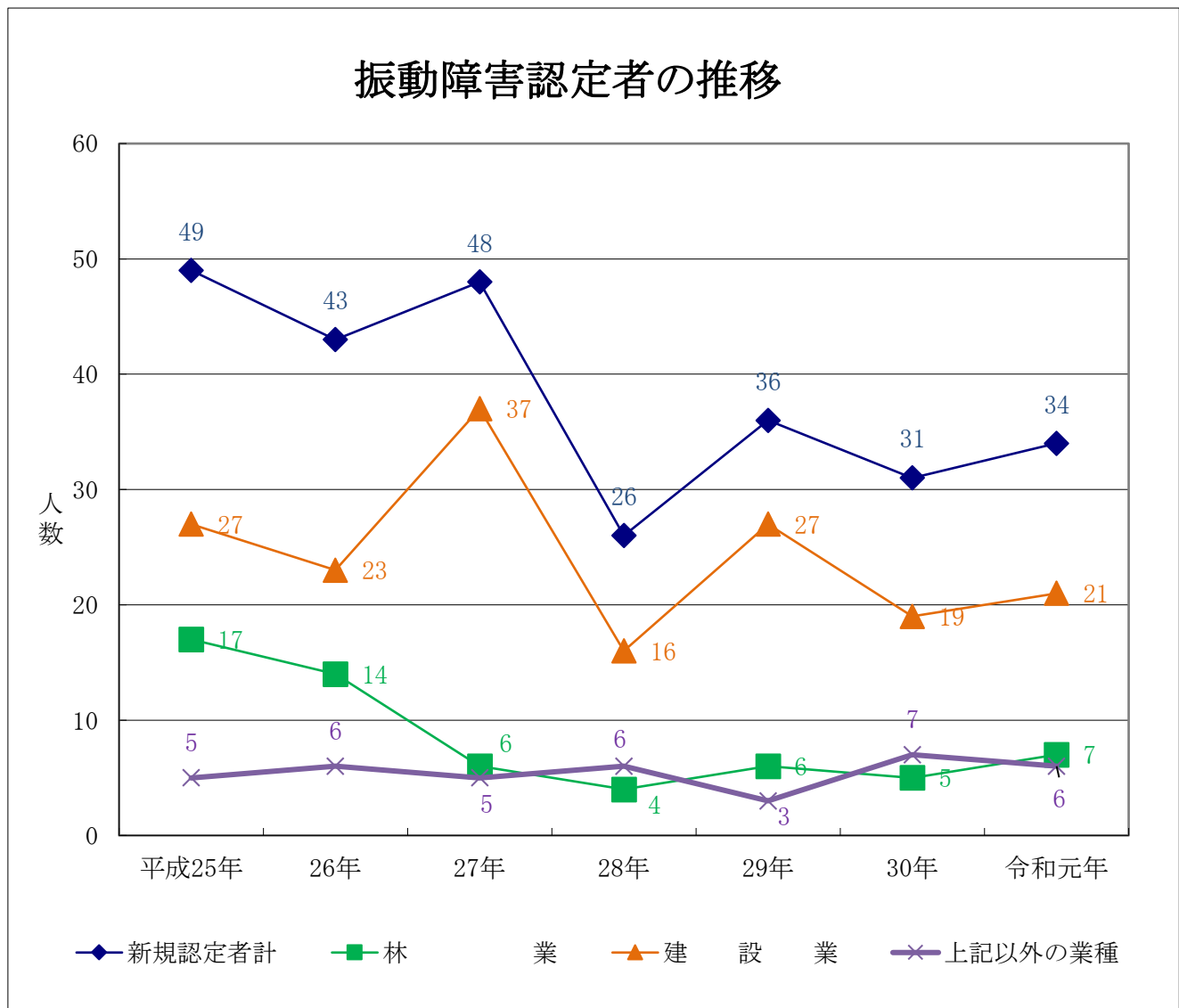
## 5. じん肺管理区分決定状況



	平成25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年
管理1	27	20	13	14	30	14	20
管理2	8	4	5	5	3	2	7
管理3 イ	1	2	0	0	1	2	2
管理3 口	3	1	1	4	2	1	0
管理4	0	0	0	1	0	0	1
計	39	27	19	24	36	19	30

## 6. 振動障害認定者の発生状況

振動障害については、建設業、林業に多いが、令和元年は、対前年と比較して3人（9.7%）増加している。



年度	平成25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年
新規認定者計	49	43	48	26	36	31	34
林業	17	14	6	4	6	5	7
建設業	27	23	37	16	27	19	21
上記以外の業種	5	6	5	6	3	7	6